

保護者代表謝辞・卒業記念品贈呈

謝 辞

暖かな日差しが差し込み、花のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じるこの良き日に、第六十八回卒業生のために素晴らしい卒業式を執り行っていたいただき、誠にありがとうございました。校長先生をはじめ、すべての教職員の皆様に、保護者一同心より厚く御礼申し上げます。

卒業式で遅しく成長した子どもたちを見ると感謝の気持ちでいっぱいです。三年前、不安と期待をまだ袖の長い制服を身にまとったこの場に座っていた子どもたちの姿が思い出されます。そして、まさか世の中が新型コロナウイルスで大変な事態に陥るとは微塵も思っていませんでした。それでも中学生は多感であると言われる時期に、休業になったり、行事が思い通りにいかなくなったり、心身ともに不安定になりそうな子どもたちを温かく見守り、今できる最善を尽くしてくださった先生方のおかげで、今までと変わらず、学校生活を過ごせ、すくすくと成長していくことが出来ました。

一年生での一泊移住、まだまだ中学校生活に慣れない中、クラスが団結していくきっかけとなり体育大会では応援にも花が咲きました。教科ごとに先生が替わられること、中間テスト、期末テスト、戸惑うことも沢山あったことでしよう。学校内外で出会う子どもたちが、先生方のご指導のおかげで挨拶をきっちり出来るようになった姿にうれしく思いました。そして行事ごとに校長先生よりお褒めの言葉をかけていただいている姿は親としても大変誇らしかったです。

二年生の体育大会は大雨により中止となり、残念な思いをしましたが、体育館で行われた三年生のソーラン節に来年は僕たちが、私たちがと胸に誓ったことでしよう。二年生もあと少しというところで新型コロナウイルスの流行で急遽休校になりこの先どうなるのかと不安になりました。校長先生をはじめ先生方のご尽力により環境を整え学年末テストや修了式を行うことが出来ました。

三年生の新学期はずいぶん遅れてしまいましたが、その後休業になることなく日々を過ごすことが出来、諦めかけていた修学旅行にも行くことが出来ました。体調を崩すことなく笑顔で帰ってきたその顔を見れば言わずとも充実した楽しい二泊三日であったことが感じ取れました。自分の目で見た広島原爆ドームは、子どもたちの心に響いたことでしよう。

文化発表会は子どもたちと先生方で行われ、保護者はビデオで後日という形になりましたが、立派に歌い上げている姿を見てさすが三年生と感動しました。

体育大会は雨で延期となりましたが、子供たちの気持ちが途切れることなく行進も、立ち居振る舞いも、短距離走も中長距離走も、ハードルもパラエテ走、リレーもさすが三年生という姿がみられ、ソーラン節では集中して取り組む姿に目頭が熱くなりました。

放課後の部活動では、顧問の先生方には、熱心にご指導いただき、試合の日には朝早くから引率や、試合の運営をしていただきありがとうございました。

保護者にとっても、数々の行事や毎日の日常を通して数え切れない程の感動と感激を味わうことが出来た三年間でした。これもひとえに先生方の愛情いっぱいのご指導のおかげと、心より感謝いたしております。

また、様々な危険が子供たちの身に降りかかるのを未然に防ぐために、交通安全やパトロールに立ってくださった地域の皆様のお力添えなしに今日の良き日を迎えることはなかったと、心から御礼申し上げます。

九年間の義務教育を終え、これから様々な道に進んで参りますが、中学校で学んだことを忘れずに思いやりの心を持ち、力強く羽ばたいてくれることと信じております。先生方には今まで通り温かい目で見守り励ましていただけますようお願い申し上げます。

感謝の言葉は尽きませんが、校長先生をはじめ諸先生方のご健勝と玉出中学校の益々のご発展をお祈り申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

令和3年3月12日

卒業生保護者代表

鮫島

旭

文原

由希

佐々木

紀子

*卒業記念品として、印鑑、印鑑ケース・卒業証書用ファイル・ボールペン・コサージュをPTAより贈らせていただきます。